

## 「頭痛学会雑誌」投稿規定（2004年11月11日）

### 1. 投稿規定

- 1) 投稿論文の筆頭著者は日本頭痛学会員に限られるものとし、論文の内容は頭痛に関連するものを広く採用する。
- 2) 投稿論文（原著、症例報告）は、国内外の他雑誌に掲載されていないもの、あるいは投稿中でない論文に限る。なお、英文の原稿も受け付ける。
- 3) 投稿論文の採否は編集委員会での審査により決定する。
- 4) 論文審査料、および掲載料は無料とする。写真については原則白黒とする。ただし、カラー写真を希望する場合は実費を徴収する。
- 5) 別冊は有料とし、50部単位で実費を徴収する。
- 6) すべての論文の著作権は日本頭痛学会に帰属する。

### 2. 論文の構成

投稿論文（原著、症例報告）：原著は、要旨300字以内、本文20枚（8000字）以内、文献30以内、図表8個以内、英文抄録500語以内とする。症例報告は、要旨300字以内、本文15枚（6000字）以内、文献20以内、図表6個以内、英文抄録500語以内とする。

	要約	本文	文献	図・表	英文抄録
原著	300字	8000字以内	30件以内	8点以内	500語
症例報告	300字	6000字以内	20件以内	6点以内	500語

特集論文・招待論文については、本文字数、文献件数、図・表の点数とも、この限りでない。また、要約、英文抄録は不要とする。

### 3. 執筆要項

#### 1) 原稿の送り先

〒162 8666 東京都新宿区河田町8-1

東京女子医科大学附属病院脳神経センター所長室内

日本頭痛学会 編集委員長 宛

- 2) 原稿はパソコンまたはワードプロセッサに限りA4判（1枚あたり2000字まで）で印刷したものとする。署名捺印入りの投稿承諾書を添付すること。
- 3) 原稿ファイルを送ること。メディアは、フロッピーディスク、CD、あるいはMOでよい（機種、ソフトウェアとそのバージョン、ファイル名を必ず記載のこと）。
- 4) 投稿論文の原稿はオリジナル1部、コピー2部（図表を含む）を送ること。また、投稿論文の場合、共著者全員の署名（別紙参照）を一緒に送ること。
- 5) 表紙には和文、英文で表題、著者名、所属、連絡先を記す。
- 6) 表紙にはKeywordsを英語と日本語で掲げる（5つまで）。
- 7) 投稿論文の場合、要旨につづいて本文として、はじめに、目的、対象・方法、考察、結論または結語などの項目を掲げる、また、症例報告の場合、症例という項目を掲げてよい。
- 8) 専門用語以外は当用漢字、現代仮名遣いを用い、句読点を正確に書く。
- 9) 外国語の固有名詞（人名、地名）は原語のまま用いる。すでに、日本語化して久しいものはなるべくカタカナとする。商標薬品名R、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語（病名、その他）の頭文字は、ドイツ語名詞及び文頭の場合を除きすべて小文字とする。
- 10) 数字は算用数字を用いる。度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm<sup>2</sup>, dl, Ml, kg, g, mgなどとする。

- 11) 写真・図・表には必ず表題（必要に応じて説明も）をつける。また、組織標本には染色法と倍率を付ける。写真は原寸大で印刷できる大きさで、十分鮮明なものとし、原寸大の大きさは21cm×14cmを限度とする。  
写真は原則として白黒とする。
- 12) 文献は本文に用いられたものを引用順に挙げ、引用番号は、本文の引用順とし、引用番号は、本文中の引用箇所に肩番号で記す。また、文献は下記のように記載し、欧文雑誌の略名は最近の Index Medicus に従う。  
雑誌の場合、著者氏名：題名、誌名、巻数：起始頁 最終頁、西暦発行年  
書籍の場合、著者氏名：書名、版数、発行所名、発行地、西暦発行年、  
巻数、引用頁  
執筆者名：論文名、書籍名、編集者名、章（または巻）  
発行所名、発行地、西暦発行年、引用頁（起始頁 最終頁）  
学会発表の抄録を引用するときは表題の最後に（会）、欧文発表の場合は（abstr）とする。
- 13) 引用文献の著者氏名は、3名以内の場合は全員を書き、4名以上の場合は3名連記の上、ほかあるいは et al. とする。

#### 4. 引用文献例

- 1) Fukuda M, Suzuki N, Maruyama S, et al. Effects of sumatriptan on cerebral blood flow under normo- and hypercapnia in rats. Cephalalgia 22: 468-473, 2002.
- 2) 根来清, 森松光紀: 疫学からみた頭痛の社会的意義. Brain Medical 12: 11-19, 2000.
- 3) 荒木治子, 竹島多賀夫, 井尻珠美, ほか: 頭痛治療のEBM: 抗てんかん薬. 日本頭痛学会誌 30: 50-52, 2003.
- 4) Giammarco R, Edmeads J, Dodick D: Critical Decisions in Headache Management. B.C. Decker Inc, Hamilton London, 1998 p1-10.
- 5) 西村周三: 医療経済学から見た片頭痛(坂井文彦・編). 片頭痛へのアプローチよりよい日常生活を配慮した診療を目指して, 先端医学社, 東京, 2004 p56-66.

編集委員長：岩田 誠

編集委員：上津原甲一、片山泰朗、喜多村孝幸、桑澤二郎、坂井文彦、作田学、  
島津邦男、鈴木則宏、瀬川昌也、中島健二、平田幸一、福内靖男、  
間中信也、森松光紀、山根清美

# 投稿承諾書

日本頭痛学会 殿

論文題名

上記論文は 所属の が

筆頭著者であり、日本頭痛学会機関誌「日本頭痛学会誌」に投稿することを共著者として承諾いたします。

なお、表記論文は、他誌に掲載または投稿中でないことを認めます。

筆頭著者署名

印

共著者署名

印

共著者署名

印

共著者署名

印

共著者署名

印

共著者署名

印